

春光台・鷹の巣地域 令和 5 年度の事業について

1 今までの 3 事業の見直しについて

①子ども支援事業

ア コロナウイルス感染症の状況について予測困難

イ 子どもと接する方々の高齢化

②高台通学合宿事業

ア コロナウイルス感染症の状況について予測困難な状況の中、公民館で宿泊することによる安全性を確保することが困難である

イ 宿泊に関わり、子どもを管理（安全性の確保等）する方が高齢で、負担が大きい

③多世代ふれあい交流会開催事業

ア コロナウイルス感染症の状況について予測困難な中、参加者の密集が避けられない

イ 事業の中心である老人会の活動が停滞し、老人会の解散が多数である

2 3 事業の策定について

短時間で 3 事業を見直し、新たな抱括型の 3 事業を策定できるものではないと考えられる。そこで、令和 5 年度中にまちづくり推進協議会で新たな方向性を探りながら 3 事業を決定し、令和 6 年度からスタートする。

3 令和 5 年度の抱括型の事業について

令和 5 年度については、暫定的に防災心得改定事業、災害時避難要支援者の避難実施訓練事業、子ども支援事業の 3 事業とする。ただし、子ども支援事業は、上記 1 で述べたように学習支援としての活動は難しいので、部活支援のための人材バンク作りを目指した活動を行う。